

実施状況等調査報告書

調査団体	公益社団法人 京都鴨沂会
事業名	外国人留学生の日本伝統文化学習と生活適応支援
調査日時	1. イベント見学：令和6年6月28日（金） 2. ヒアリング：令和6年6月28日（金）
実施形態	1. イベント見学：対面 2. ヒアリング：ハイブリッド（対面、オンライン（Webex））
<p>報告事項</p> <p>1. イベント見学について（11時00分～12時30分）</p> <p>1) イベント名：外国人のための日本伝統文化教室</p> <p>2) 参加対象：外国人留学生、日本人学生、地域住民（外国人除く。地域のスタッフ含む）、団体スタッフ等</p> <p>3) 参加者数：6名（うち、外国人留学生2名、地域住民（外国人除く。地域のスタッフ含む）1名、団、体スタッフ2名、その他1名）</p> <p>4) 概要：</p> <p>本イベントは、「外国人のための日本伝統文化教室」として、鴨沂会館内にある和室において「華道」教室が実施された。</p> <p>会場の出入口には、非接触体温計及び消毒液が配置され、衛生面への配慮が見られた。イベント開始時刻になると、参加者3名は、長机の上に準備された花器・花留め・花鉢の前に座り、中谷豊甫講師のもと、105年続く「未生流笹岡」生け花が行われた。</p> <p>まず、生け花の歴史について説明があった。飛鳥時代、仏教が日本に伝来したことに伴い、仏様に花を供えることは最高の供養であるということで、仏に花を供える風習（仏前供花）が一般化した。日本の和室には床の間ができたことから「観賞する花」に移り変わったという説明がされた。その際、日本語がまだ十分に理解ができない参加者に対して、他の参加者が中谷豊甫講師の日本語を英語に訳して説明しており、外国人留学生同士の交流も見て取れた。次に、参加者には先人が考案した型に、花枝の長さや配置・角度を書き添えた図面「寸法表」が渡された。この図面どおりに花を組み立てていけば、初心者でも簡単に美しい花姿に整えることができるという、未生流笹岡の基本となる考え方の説明があった。</p> <p>本イベントで実際に生ける花は、まっすぐ伸びた葉と季節の花である薔薇が準備されており、参加者からは「好きな花で生け花をすることができてよかった」「日本の伝統文化が分かった気がした」という声も聞かれ、参加者は、中谷豊甫講師の説明を熱心に聞きながら、思い思いに生けることができた様子であった。</p> <p>2. 実施状況等調査（ヒアリング）について（12時50分～13時10分）</p> <p>・概要：</p> <p>今年度の実施計画及び実施状況報告、予算の執行状況について確認した。本イベントは、関係団体より依頼があれば、「華道、茶道」等、希望に応じる形で鴨沂会館建物内にある和室で実施している旨、説明があった。その他、本助成事業に係るヒアリングを行い、要望等を伺った。</p>	